

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホーム開設時からの課題である地域との連携も、ホーム側からの働きかけは継続しており、特に地域行事へは積極的に参加し、地域住民として交流を図っている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	概ね2ヶ月に一回の会議を開催し、制度の目的通りの運用がある。ホームの活動報告、認知症に関する勉強会等、情報発信の役割も果たしている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市担当課への相談・報告を通じ、ホーム・利用者の状況を密に連絡しており、良好な関係作りに問題は感じられない。適切な助言・指導をホーム運営に反映させている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	運営推進会議やホーム行事参加、面会時・電話連絡時等、家族が直接意見を言える機会を多く確保し、直接の聴き取りに努め、迅速に対応している。今回家族アンケートには、ホームの対応に感謝の言葉が多く寄せられている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

どの重点項目についても、管理者・職員の思いのこもった手厚い配慮が感じられる。今回、重点項目の運営推進会議の開催回数について、9月の運営推進会議が中止になっている事を管理者が非常に気にとめていたが、運営推進会議の内容・取り組みから考えて、一回の会議中止は運営上差支えがなかったと判断した事を特筆したい。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。